

# SIC<sup>®</sup>

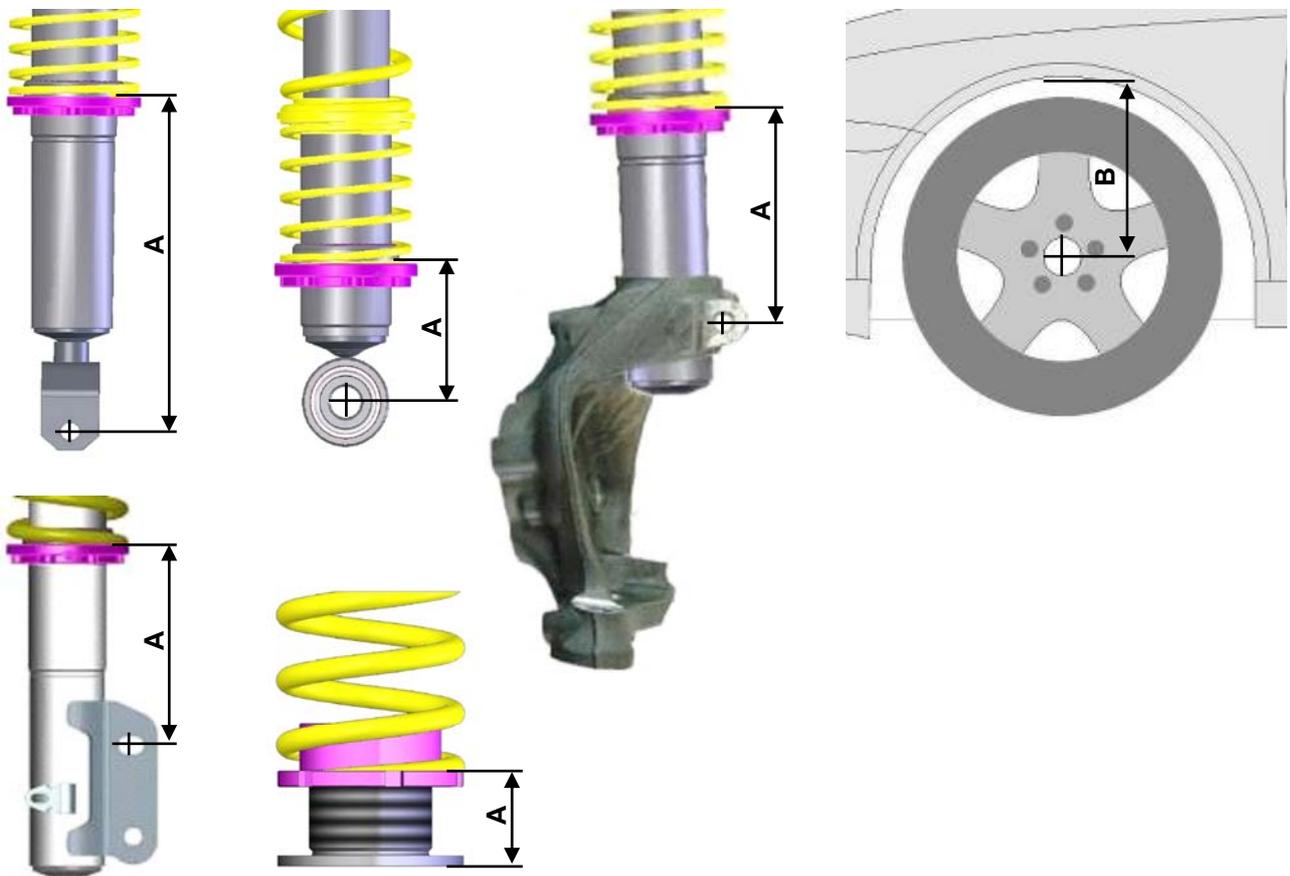
SUSPENSIONS

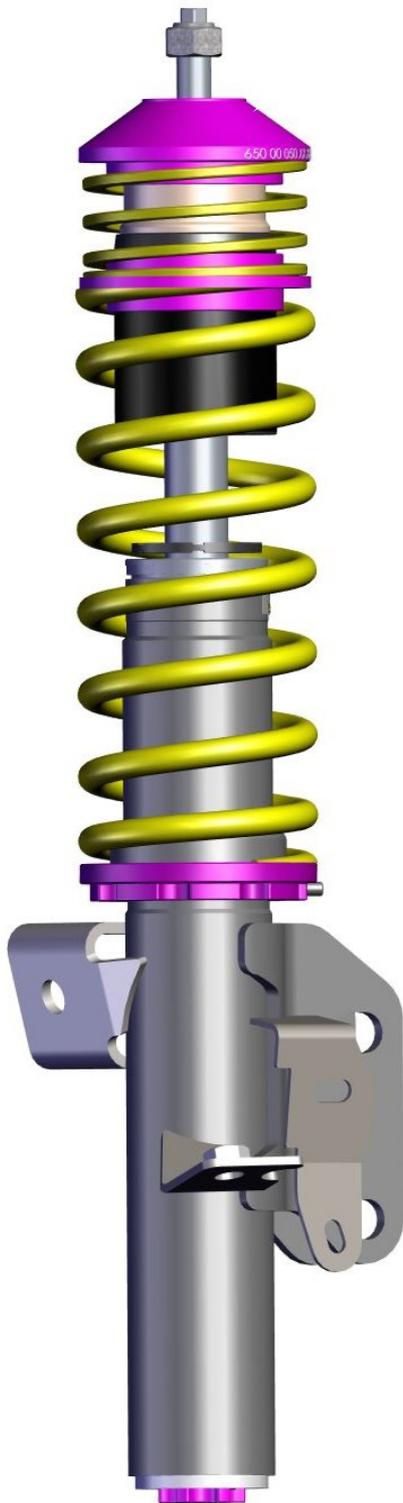


## INSTALLATION GUIDE

made by 

テクニカルデータ	Coilover part number ... 58 004			
Vehicle model	Toyota GT 86 ,GR 86 type ZN Subaru BRZ type ZC Scion FR-S		max. permissible front axle load: - 876 kg	
	front axle		rear axle	
Spring signature	10-60-80 / 40-200*		10-60-80 / 50-200*	
Coilover strut / Shock absorber signature	580 1002		580 1102	
イラストの「A」寸法を確認して下さい。	min:	max:	min:	max:
	65 mm / 2,6 inch	95 mm / 3,7 inch	105 mm / 4,1 inch	130 mm / 5,1 inch
イラストの「B」寸法を確認して下さい。	min:		min:	
	320 mm / 12,6 inch		320 mm / 12,6 inch	



**Front axle:**

純正トップマウントを付属のナットで取り付けます。

ピストンロッドナットの締付トルクは35Nm。

その他は、自動車メーカーの基準に従って取り付けます。

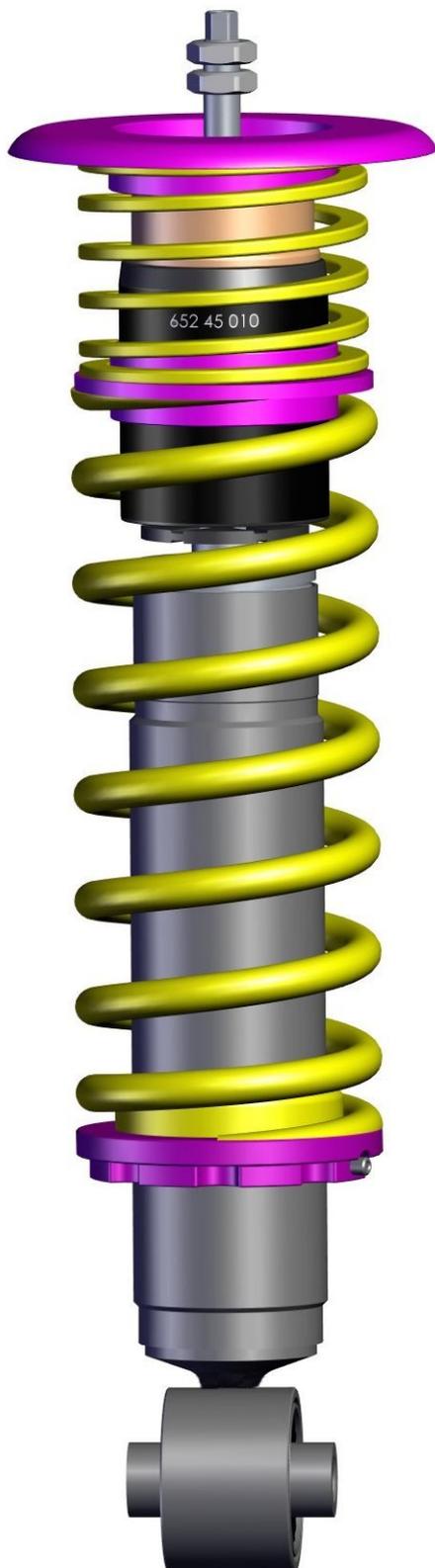
Install the factory supporting bearing without the rubber and fix it with the supplied stop nut. Tightening torque for the piston rod nut is 35 Nm (26 ft-lb). The strut unit has to be installed according to manufacturers recommended settings regarding tightening torque and fixing specifications.



サスペンションの取付が完了したら、タイヤとフロントサスペンションのクリアランスを確認して下さい。

最小クリアランスは5mmです。必要に応じて市販のホイールスペーサーを使用して下さい。

After you have completed installation of the suspension, check the clearance of the tyres to the front suspension strut. The minimum clearance at the narrowest point is 5 mm and must, where necessary, be provided using commercially available, Technical Inspectorate approved spacers.

**Rear axle:**

純正トップマウントを取り付け、付属のナットで固定します。

ピストンロッドナットの締め付けトルクは 20 Nm (15 ft-lb) です。

自動車メーカーの推奨に従って取り付けする必要があります

締め付けトルク等ご確認下さい。

Install the factory supporting bearing and fix it with the supplied nuts. Tightening torque for the piston rod nut is 20 Nm (15 ft-lb). The strut unit has to be installed according to manufacturers recommended settings regarding tightening torque and fixing specifications.



# SIT<sup>®</sup>

SUSPENSIONS



## SETUP MANUAL

made by  KW



## Set Up Manual for ST XA and ST XTA

STツインチューブダンピングシステムは、伸縮独立したリバウンド減衰力調整が可能です。

リバウンド減衰力調整:

ほとんどの場合、ピストンロッド(ストラットの上部)に配置されます。  
六角アジャスターに付属のST調整ダイヤルを使用して調整を行います。

STEP 1: ピストンロッドトップの六角アジャスターにST調整ダイヤルを差し込みます。

STEP 2: ダイヤルを右(時計回り)に止まるまで回します。止まった位置がフルハードです。

STEP 3: 左(反時計回り)に回して、リバウンド設定を希望のレベルまでソフトにします。  
有効な調整範囲は0~16クリック/0~2,75ターンです。

注意!

フルハードまたはフルソフトに設定しないでください。(フルハード=0 フルソフト=16)

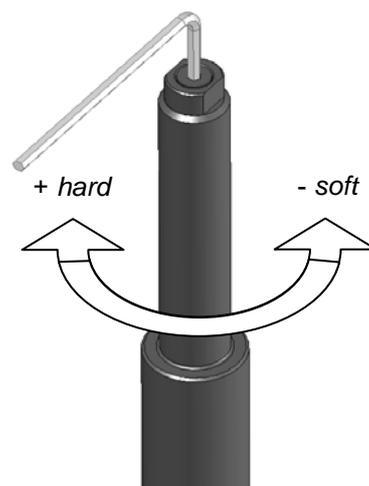
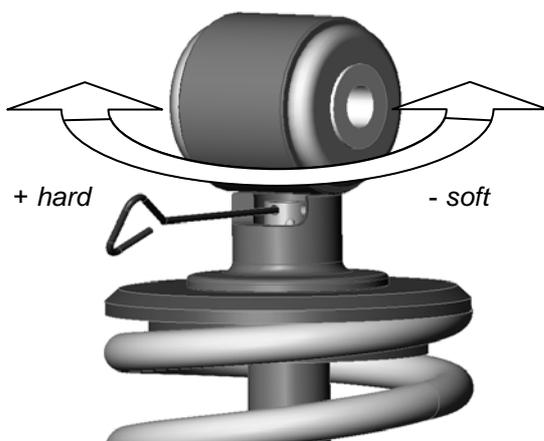
ショックアブソーバーの調整機構は、調整範囲の終わりに達すると回転が止まります。バルブの損傷を避けるためにそれ以上力を加えないで下さい。

リバウンド調整の原則:

一般的に、リバウンド減衰力調整をソフトにすると低速での乗り心地は快適になりますが、

特にフロント軸では、高速での安定性が低下します。

リバウンド調整をハードにすると、安定性が向上しますが、車両のグリップが低下する可能性があります(つまり、車両は路面の凹凸をスキップし、追従性が低下します)。



### 推奨セットアップ

<b>Front Rebound</b>		9	Clicks open	( 1,5	Turns open )
<b>Rear Rebound</b>		9	Clicks open	( 1,5	Turns open )